

事務だより

特別号

令和6年2月20日
小川小学校
事務 田代 怜子
TEL 96-2049



小川小学校事務部より

雨水の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。事務だよりの発行をいたします。お手すきの時に御一読くだされば幸いです。

はやいもので、今年度も残りひと月と少しくなりました。その中で、5年生の宿泊学習、6年生を送る会、卒業式…と、今年度の締めくくりに向けて、行事が盛りだくさんに入っております。そして事務部も、予算・事務のまとめの繁忙期に入っております。忙しさにかまけてミスをしないように！いつも以上に気を付けて処理を行っていきたいと思います。

各事務手続きについて、御不明な点等ございましたら、お気軽に御相談ください。

就学援助費申請について

◆就学援助制度を知っていますか？◆

2月15日(木)に、保護者の皆様に、『就学援助制度について』という御案内を配付させていただきましたが、今回、補足で説明させていただきます。

那珂川町では、就学援助制度を設けております。これは、お子様の、小・中学校への就学において、経済的な理由によりお困りの御家庭に対し、学用品費・給食費など、学校で必要な経費の一部を援助する制度です。

◎年間どれくらい援助してもらえるの？

全学年共通で、**給食費(全額)・見学旅行や宿泊学習などの校外活動費(実費)**が援助されます。ほかにも学年に応じて各援助があります。

- ・**1年生** 上記太字部分+入学用品費 or 入学準備金(54,060円)
- ・**2～5年生** 上記太字部分+学用品費(12,100円)
- ・**6年生** 上記太字部分+卒業アルバム代(11,000円)+修学旅行代(実費)

※金額は令和5年度のものです。

※実費支給の項目は、支給限度額があります。

◎認定の基準ってあるの？

那珂川町では認定基準の所得の目安が申請書に記載されていないので、お隣のさくら市の認定基準を参考に説明させていただきます。※世帯の状況によって、基準額以下でも認定されない場合があります。

世帯人数	2人	2人	3人	4人
世帯構成	大人1人 小学生1人	大人1人 中学生1人	大人1人 小学生1人 中学生1人	大人2人 小学生1人 中学生1人
年間総所得目安 (前年中の世帯全員の総所得金額)	180万円程度	200万円程度	260万円程度	310万円程度

上記は、『さくら市 HP 就学援助制度』より抜粋したものです。金額に多少誤差はありますが、おおむねこの基準を参考に、那珂川町の場合も見ただけだと思います。

那珂川町では、町民税の非課税・減免世帯等の『認定基準該当世帯』のほか、生活保護法の所得基準をもとに、『教育委員会が定める基準額を下回る者及び特に就学援助の必要があると認める者』について、認定しています。

裏面へ続く▶

☐表面に引き続き「就学援助費申請について」です

◎令和6年度就学援助申請を、現在受け付けております！



令和6年度（今年4月～来年3月まで）の就学援助の申し込みを開始いたしました。申請御希望の方は、学校または那珂川町教育委員会（学校教育課）から申請書を受け取り、必要事項を御記入・押印いただき、学校または学校教育課に御提出ください。

申請書は、小川小ホームページ（事務室から）からダウンロードすることも可能です。御活用ください。

※受付は年間を通していつでもできます。年度途中で家庭の状況が変わられた時などなるべく早めに相談してください。

※申請日によって、何月からの認定になるかが判断されます。**4月からの認定を希望される場合は、4月中旬頃までには申請書を御提出ください。**

※『学校 HP→事務室から→就学援助費関係』から、R6年度の申請書をダウンロードできます。



各種証明書について

以下の証明書を学校で発行しております。発行の際は、申請書（発行願）を御提出いただきます。学校 HP からダウンロードして御記入いただくか、直接事務まで御連絡ください。申請書をお渡しいたします。

- ・ **在学証明書**…本校に、該当児童が在学していることの証明書。
- ・ **卒業証明書**…本校を卒業していることの証明書。薬利小、南小も本校から出します。

学校 HP→各種証明書関係→事務関係からダウンロードできます。

↓職員室で販売しております。
ついでに、御協力ください。

児童用名札

児童用名札を学校で販売しております。中身の紙のみの販売はしておりませんので御注意ください。

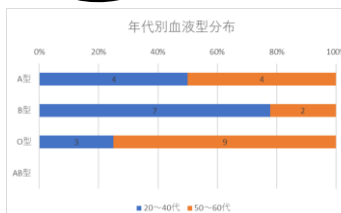


1つ80円



血液型選手権 続

小川小教職員血液型分析 年代別編



前回の事務日より、小川小教職員の血液型の分布を見てみましたが、今回は、年代別で血液型の特徴があるのか、分析していこうと思います。

左のグラフを御覧ください。それぞれの血液型について「20～40代」、「50～60代」で割合をみてみました。（見づらくてすみません）

A型は、5：5とほぼ同数で構成されています。世代間の違いはありませんね。B型は、7：2。若い世代の方が圧倒的に多いです。近年はB型に、先生職が人気のようです。反対に、O型は、小川小で一番多い血液型ですが、そのほとんどが50代以上。O型の先生人気ブームは、バブル世代で終了したようです。AB型は、今の小川小教職員にはおりません。物事を冷静に見れる人の多いAB型がいないのは、正直寂しいですね。

さて、これらのデータから、次のことが考察できます。それは、

10年後、今の50代の先生方が退職すると、B型特化時代到来！ということです。若い世代のA：B：O：ABの割合をみると、3：5：2：0。本来日本は、4：2：3：1なのです。なんとB型が、本来の割合の2倍以上を占めています。10年後は2人に1人はB型の時代が到来します…。B型の自分が言うのもなんですが、B型は、かなりマイペースですよ。大丈夫かなあ…。是非、色々な血液型の皆様！先生になってください！